

# さやま生活支援コーディネーターニュース

## ー福祉でまちづくりー

発行 狭山市社会福祉協議会 地域福祉担当

〒350-1305 狭山市入間川 2-4-13 狭山市社会福祉会館内

Tel 04(2954)0294

E-mail daihyou@sayama-shakyou.or.jp

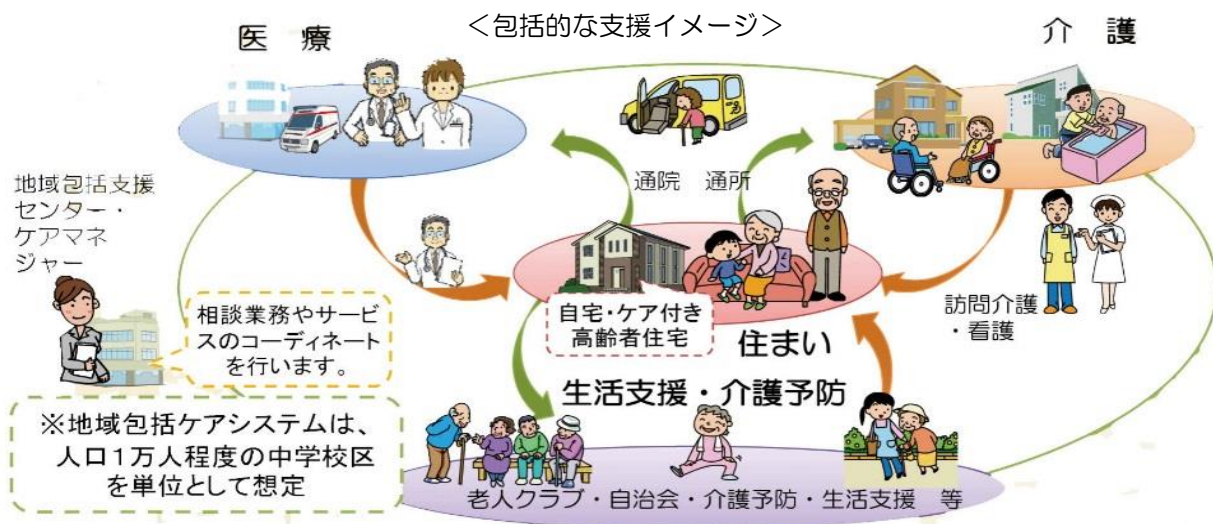


### 生活支援体制整備事業とは・・・

平成27年の介護保険法の改正によって、被保険者が要介護（支援）状態になることを予防し、社会参加しつつ、住み慣れた地域で自立した生活を続けるように支援する目的で定められました。そのために、医療や介護の専門的なサービスの他、NPOやボランティア等を活用した多様な日常生活上の支援体制の充実と強化が求められています。最後まで自分らしく暮らすことができるように病院や介護施設、その他の地域にある様々な機関と連携をする『地域包括ケアシステム』を目指しています。

### 狭山市では・・・

市からの委託を受けた狭山市社会福祉協議会が生活支援コーディネーターを配置して、住民の皆さんとともに、狭山市の「地域包括ケアシステム」を目指して整備を進めています。



### 生活支援コーディネーターとは・・・

地域に不足しているサービスの創出、サービスの担い手の養成、ボランティアが活躍する場の確保など、地域の**人と場、人と人、人と支援をつなぎ合わせていく役割**です。

今年度より狭山市では、新たにそれぞれの地区に生活支援コーディネーターを配置しています。

### 第1層協議体・第2層協議体とは・・・

協議体とは…生活支援コーディネーターと連動して、地域課題の解決のために、具体的な方法を検討したりアイデアや情報を共有する、話し合いの場です。

第1層協議体とは…狭山市全体の生活支援の形を考える場です。

第2層協議体とは…それぞれのエリアでの仕組みづくりを考える場です。

(狭山市では社協支部のある入間川・入間川東・富士見・入曽・堀兼・奥富  
柏原・水富・新狭山・狭山台を10のエリアとしています。)

## 第2層協議体の仕組みづくりのために…「住民支え合い勉強会」がスタート

### 『住民支え合い勉強会』

平成28年から支部社協のある10のエリアで、地域の特性にあった勉強会を住民の皆さんと共にすすめてきました。地域の皆さんと一緒に、「エリアの強み」「エリアの課題」「こんなものがあつたらいいな」「このエリアでめざすもの」などを出し合いました。最初は、エリアの状況や課題を共有することから始まりました。そしてそのためには何が必要かについて、繰り返し話し合いを重ねてきました。



⇒話し合いの中で上がってきた第2層協議体のイメージは…

- ◆集える場がある ◆いつでも誰かがいる ◆おしゃべりができる ◆誰が来てもOK
- ◆気軽に相談ができる ◆相談が次につながる ◆情報が集まる ◆自分たちの役割が見つかる

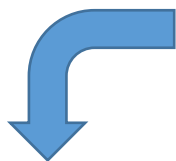
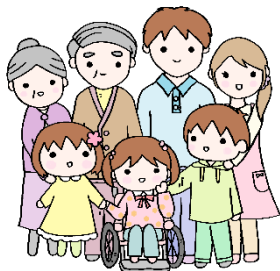


⇒このようなイメージを具体化するために、住民活動はさらに進化をしています！

## 住民が主体で行うことの意義…

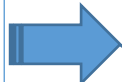
### 住民のつながりそのものに価値がある！

- 知り合いが増える。
- 地域での役割が増える。出かける所ができる。
- 孤立した人に気づく。
- ちょっとした助け合いができる。



- 生活にハリができ、健康が維持できる。
- 生活情報が手に入る。わからないことが聞ける。
- 何かあった時に気づいてもらえる。
- 仲間から地域で暮らし続ける知恵や姿勢を学べる。

- ずっとここで暮らせるかなと希望がもてる。
- 地域でねばって暮らすことを根底に支える。



**安心して地域で住み  
続けられる**

## 狭山市の第2層協議体の活動を報告します！

### 奥富地区

奥富地区の良さを活かして、住民同士のつながりを広げようと地域づくりを進めてきました。

3回の住民ささえ合い勉強会を開催し、高齢者の困りごとを我が事として、「一人ひとりの課題は地域の課題、地域の課題は明日は我が身」と考えて『奥富地区ささえ合いネットワーク会議』が設置されました。

お茶のみサロンの「じいじとばあば」や「いきいき百歳体操」が始まり、健康増進と共にコミュニティづくりを行っています。

昨年度3月までに「じいじとばあば」では248名、「いきいき百歳体操」では518名の地域住民の方が参加され、地域の居場所が具体化されています。

（奥富地区ささえ合いネットワーク会議会長

加藤 利男さん



奥富地区は元々住民同士の繋がりがあり、人の思いやりがある地域でした。地域の人がいつまでも元気でいられるようにと「じいじとばあば・いきいき百歳体操」を開催しました。初回到奥富地区にチラシを全戸配布したら反響があり、三〇人以上の人が参加してくれました。当初は全十五回開催の予定でしたが、継続して開催することになりました。「じいじとばあば・いきいき百歳体操」は気軽に皆さんが集まってお茶を飲むだけでなく、外に出る機会となり、住民同士のきずなを結べる場となっています。

## 入間川地区

住民支え合い勉強会を開催していく中で、住民が自由に集まって交流し、困りごとの相談ができる拠点が必要だと考えました。

年齢や居住地、障害の有無にかかわらず誰もが気軽に参加できる居場所として、「イオン武蔵狭山店」と「こぶし福社会」の協力を得て、5月末までに3回の『住民ささえあい入間川茶べり場』を開催しました。ボランティアによる送迎も実施され、初回は35名の参加がありました。もう1か所の、「こぶし福社会かすみがわ食堂」では、けん玉や体操などのレクリエーションを行い、23名の住民の方が参加されました。

入間川地区は広く東西でわかれていて、それぞれの地域の特色も違うので二か所拠点を作りました。福祉委員の方々の協力もありロコミが功を奏して、思っていたよりも多くの方が参加してくれました。第二層の拠点として、お茶を飲んで楽しむだけでなく、そこから困りごとなどの相談につなげていくことが必要だと考えています。高齢化が進む現代だからこそ、入間川地区では、元気な人は体の不自由な人を助けたり、支えていけるような地域にしたいです。

（入間川住民支え合い茶べり場会長

中島憲昭さん）



他にも紹介したいエリアがたくさん。次号も引き続き各エリアの活動を紹介します！



狭山市社協の生活支援コーディネーターです！

よろしくお願いします！

担当者	担当地域	抱負を一言！
天谷	1層	すべての人に居場所と役割のある狭山になるよう地域の皆さんと力を合わせたいです。
小池	1層 富士見、狭山台	地域で何かできるかなと気づいた皆さんに、何か応援ができたと思います。
中村	入間川、入間川東、入曽	住民の皆様にとって終の棲家となる地域づくりを目指していきます。
川上	奥富、堀兼、新狭山	一人ひとりが輝ける地域づくりを目指して、住民の皆様と協働していきます！！
森	柏原、水富	誰もがずっと住み続けたいと思えるような地域になるよう皆さんと一緒に頑張ります。

お問合せは 狭山市社会福祉協議会 生活支援コーディネーターまで



社会福祉法人

狭山市社会福祉協議会

Facebook では狭山市で行われている活動を紹介しています！

Facebook

<http://www.facebook.com/sayama.shakyo/>



〒350-1305 狭山市入間川 2-4-13

狭山市社会福祉会館内

TEL.04(2954)0294 FAX.04(2954)4343

E-mail [daihyou@sayama-shakyou.or.jp](mailto:daihyou@sayama-shakyou.or.jp)

HP <http://www.sayama-shakyou.or.jp>

